

平成 28 年度研修等

実施月	内 容	実施月	内 容
5 月	第 1 回情報交換会 (相談員のみ)	11 月	
6 月	自主ミニ勉強会	12 月	第 3 回情報交換会 (受入れ事業所参加) 自主ミニ勉強会
7・8 月			
9 月	第 2 回情報交換会 (静岡市、藤枝市、焼津市、島田市合同) 全国活動事例報告会 (東京)	1 月	
		2 月	自主ミニ勉強会
10 月	現任研修Ⅱ (東京 2 日間) 自主ミニ勉強会	3 月	第 4 回情報交換会

「全国介護相談活動事例報告会」に参加して！

当日は永年活動 118 名が表彰され、その笑顔が印象的で心から拍手を送りました。講演会では、認知症について興味深い話があり、認知症の人は辛くて不安である。出来た事が出来なくなり、叱責を受けて孤立し、居場所がなくなる。忘れていく淋しさも解っていて自信を無くす。このままではいけないと悩んでいることも解りました。そんな時は「忘れてもいい、私が覚えてあげよう。一緒にやってみよう。」心に残る言葉でした。これからの活動に生かせたらと思います。  
介護相談員 南谷 美江

介護相談員受け入れ状況

介護相談員派遣対象の事業所	全事業所数	派遣受入事業所数 2016 年 10 月 1 日現在				
		葵 区	駿 河 区	清 水 区	合 計	
介護老人福祉施設 (特養)	37	11	9	15	35	
介護老人保健施設 (老健)	21	9	5	7	21	
特定施設入居者生活介護	28	8	3	3	14	
地域密着型	介護老人福祉施設	4	3	1	0	4
	特定施設入居者生活介護	6	1	0	1	2
	グループホーム	113	25	20	24	69
合 計	209	57	38	50	145	

介護相談員だよりの歩み

相談員だよりの創刊は今から 12 年前の平成 16 年 4 月、単色印刷でした。発行に当たって当時の編集担当代表の堀委員は、この紙面を通して私たちの活動を知って頂くきっかけになれば、と思いを綴っています。当初は年 3 回発行でしたが編集者が変わると発行数に変化もあり又 15 号からは念願のフルカラーになりました。この度 20 号を発行するにあたって読み返してみますと紙面づくりへの思いは担当者が変わってもぶれる事無く続いてきました。原稿依頼に快く寄稿して下さい下さった事業者様、相談員の仲間たち、予算取りを始め、編集委員の我儘に応じて下さった事務局、皆さんのおかげで 20 号まで続いてきました。歴代の編集委員を代表してお礼を申し上げます。まだまだ拙い編集ですがこれからもご支援いただき次号に繋げて行きたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。  
編集委員 石原 幸子

編集後記：お届けするたよりは、毎回、介護相談活動に関わるすべての皆様からボトムアップされた声から生れ、記念すべき 20 号となりました。今後も、是非、皆様の声をお聞かせ下さい。(km 生 記)  
～編集委員：石原幸子、海野ふさ子、佐々木亘、竹村民子、外側志津子、長澤ミドリ、増田好司

しずおか市  
介護相談員だより



平成 28 年 11 月 第 20 号

発行 介護相談員だより  
編集委員会

事務局：静岡市保健福祉長寿局  
健康福祉部介護保険課  
TEL 054-221-1202  
FAX 054-221-1298

『しずおか市介護相談員だより』第 20 号発行おめでとうございます。

介護相談・地域づくり連絡会

代表 菅原 弘子



平成 12 年 4 月の介護保険制度施行に伴い創設された介護相談員派遣等事業のスタートと同時に、静岡市も事業を開始し、以来、介護相談員の充実した活動を始めとする事業展開に敬意を表します。

事業の中核を担う介護相談員の活動を、今改めて確認すれば、利用者の視点で「サービスの質向上、利用者の権利擁護」という目的をもった第三者の介護相談員が、介護の現場に入ることの意義、すなわち介護相談員という存在意義。ひいては、利用者にとっても相談できる人の存在はそれだけで安心感をもたらします。

介護保険制度施行により介護を取り巻く環境は大きく変わりました。しかし、制度ができて人々の意識が転換するには時間がかかります。利用者に対等なサービス提供者に対して、要望や不満を伝えられないでいる利用者が多いのが現状です。

介護の現場へ入り、利用者の勇気ある小さな声、表情や態度に見え隠れする声なき声を大切に拾い集めることは、介護相談員活動の要です。これは、利用者の疑問や、不満、不安の解消を図るだけでなく介護サービスの質の改善、向上につながっています。

誰もが、老後を安心して暮らせる社会は、制度だけでできるものではありません。地道な介護相談員活動などを通じて培われ築かれていくものです。

介護相談員のますますの活躍を期待します。

ご挨拶

静岡市長 田辺 信宏



介護相談員だよりが記念すべき創刊 20 号を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。平成 12 年度に開始した介護相談員派遣事業が今年で 16 年目を迎えられることは、関係各位の努力の賜物であり、深く敬意と感謝の意を表します。また、受入事業所数も年々増加しており、介護サービスの質の向上に多大なる貢献をいただいております。この場をお借りして、あらためて厚くお礼申し上げます。

今後、高齢化が進む中で、介護サービス利用者がますます増加することが予想されます。事業所と利用者の「橋渡し役」として、介護相談員へのさらなる期待も高まっていくことと思います。

今後の活躍の中で苦心されることも多いことと拝察いたしますが、長年培ってこられたノウハウや経験を糧に、介護相談員派遣事業がますます発展されますことをお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

相談員派遣事業については静岡市介護保険課ホームページにてご覧になれます。

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_003341.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_003341.html)